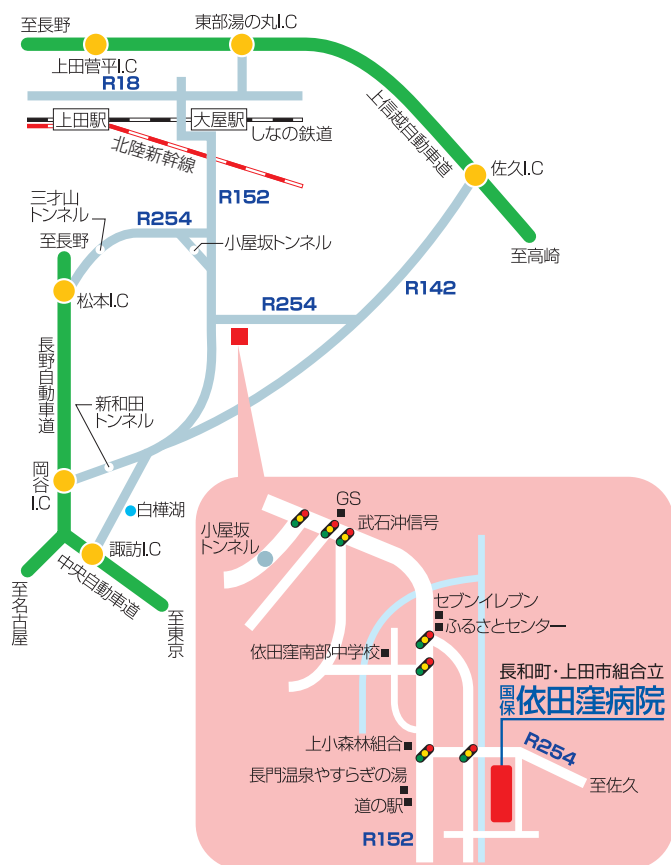
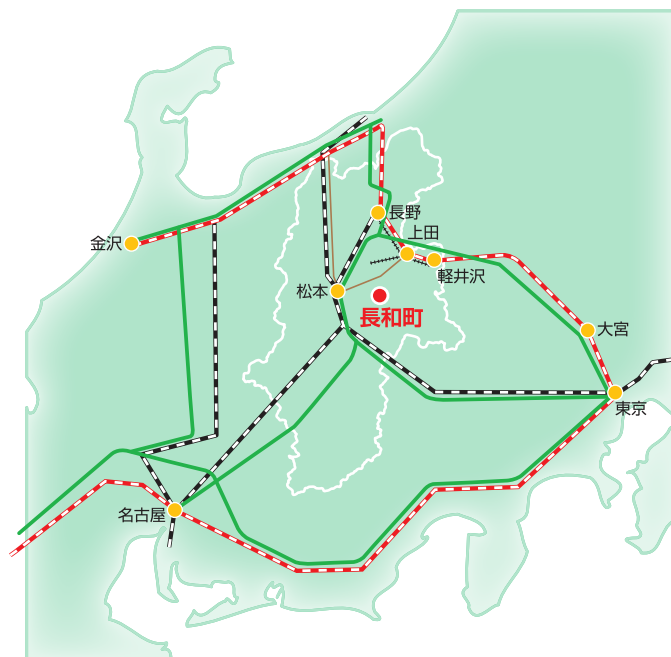




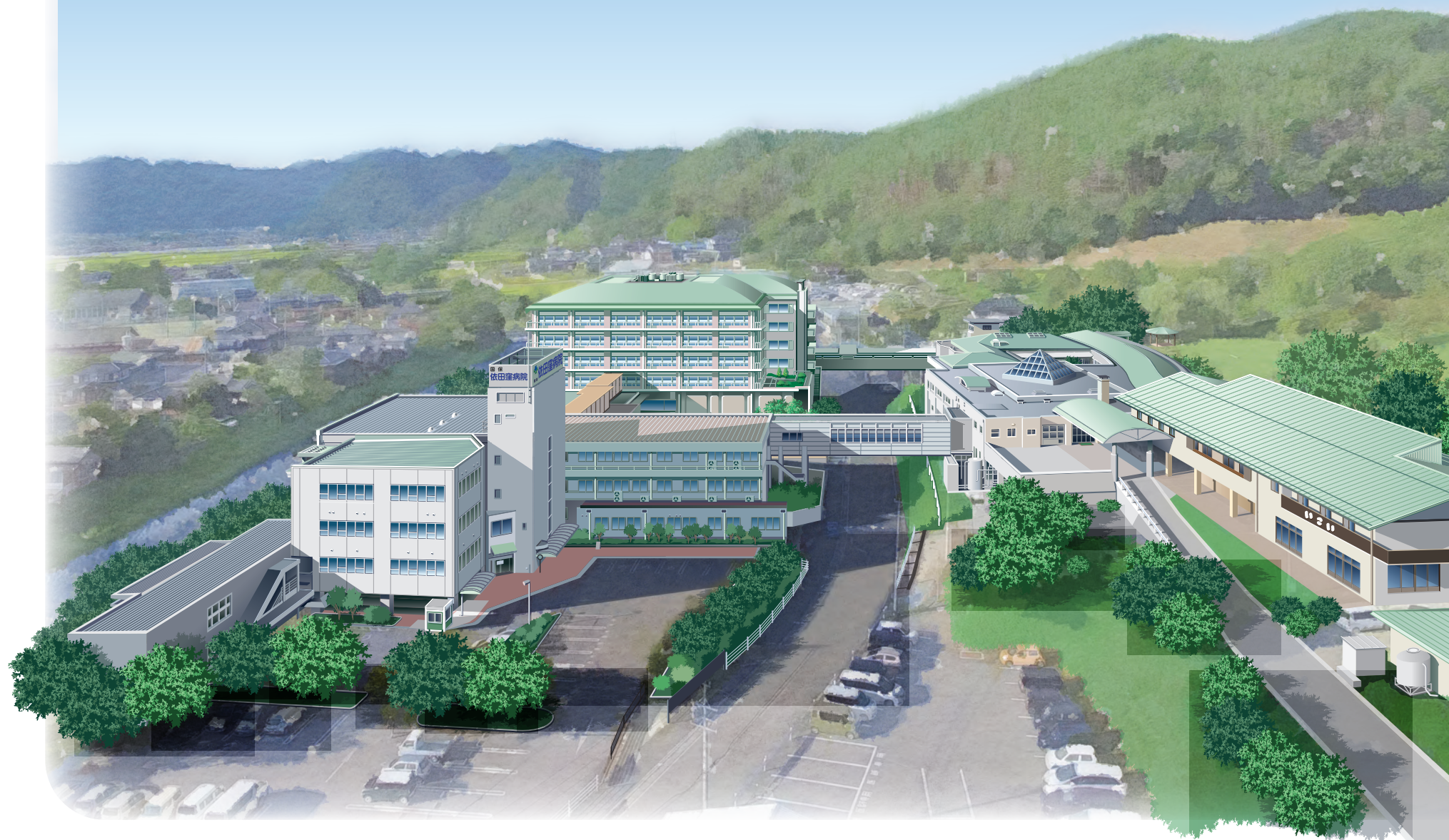
〒386-0603 長野県小県郡長和町古町2857
TEL0268-68-2036 FAX0268-68-4034
<https://www.yodakubo-hp.jp/>

YODAKUBO Hospital

豊かな自然の中で、心あたやかな地域医療を



Hospital Guide



採用情報はこちら！



人と人、地域と病院をつないでいきたい

1981年に、地域住民の医療を守るため当院は設立され、今日まで歩んで参りました。

中でも先進的な整形外科手術には特に力を入れ、患者さんに質の高い医療の実践を心がけています。

2020年からは、地域包括ケア病棟を増床したことで、地域連携の推進と、それによる急性期を脱した患者さんにより密着した医療の提供に力を注いでいます。

今後も、質の高い医療の提供と、この地域に一番近い病院としての役割を果たしていくことで、この地域医療に貢献してまいります。

Town Nagawa



Yodakubo Hospital.

理念

地域に密着した心あたたかく、安全で質の高い医療を実践します。

基本方針

患者さんの人権を尊重し、さわやかな接遇を心がけ、説明と同意に基づいた心の通う医療の実践に努めます。

医療技術の専門性を研鑽し、倫理的で良質な医療水準の維持と向上に努めます。

地域の医療機関や各種施設との連携を一層推進し、医療・保険・福祉の充実に貢献します。

チーム医療及び組織横断的な活動を推進します。

自治体病院として公共性を保ちながら健全で安定した経営基盤の確立に努め、

地域医療活動を通してその成果を地域に還元します。



● ● ● ●

依田窪病院を 造るキーワード

地域に貢献しつづけるため、
高い医療の質を維持していくため、

不安や悩みを相談できる
家族のような存在になるため、

そんな想いをかたち造る
キーワードがあります。

mission 当院の使命

身近に信頼できる病院があること。
安心して生活が送れるために
私たちはいます。

community cooperation 地域連携

入院支援から退院後のケアまで
患者さんのライフスタイルに合わせた
医療サービスの提供。

preventive medicine 予防医療

“病気の芽”を事前に摘む。
治療のための病院から
予防のための病院へ。

community work 地域活動

地域に密着したあたたかな医療
を目指し、皆さんとの交流、
健康づくりへのお手伝いをします。



このマークは、地域医療の更なる充実を目指して発展していく依田窪病院の姿を、平和の象徴である鳩が大きく羽ばたいている様によって表しています。そして真中にあるYの字は依田窪病院の頭文字を示し、直線の交わりは、長和町と上田市が依田窪病院を共に力を合わせて支え合うことを、清らかなで澄んだ水と真っ青な空を濃い青で、豊かな自然に恵まれた環境を緑によって表現しています。

病院概要

〔名称〕	国民健康保険 依田窪病院
〔許可病床数〕	140床（稼働 131床） （地域包括ケア病棟 88床） （一般病棟 [10対1] 43床）
〔所在地〕	長野県小県郡長和町古町2857番地
〔開設〕	1981年4月
〔開設者〕	依田窪医療福祉事務組合（長和町・上田市）

各種指定

更生医療指定医療機関
救急告示指定病院（病院群輪番制指定）
生活保護法指定医療機関
労災保険法指定医療機関
政府管掌生活習慣病健診指定医療機関



身近に信頼できる病院があること。
安心して生活が送れるために
私たちはいます。



診療部門全体で連携しながら 地域のかかりつけ医としての使命を果たします

地域に一番近い病院として住民の皆さんがいつでも頼っていただけるよう、救急の受け入れや日常の経過観察フォロー、リハビリテーションを通じ貢献します。入院となった時も自然豊かな環境に囲まれながら療養いただくと共に、患者さんの状態によっては温泉でリラックスいただくことや、いこいの丘公園での散歩も可能です。

地域の皆さんに選ばれ愛される病院となるために

地域住民の皆さんが安心して生活できるよう、一人ひとりに寄り添い、心あたかな医療を提供します。



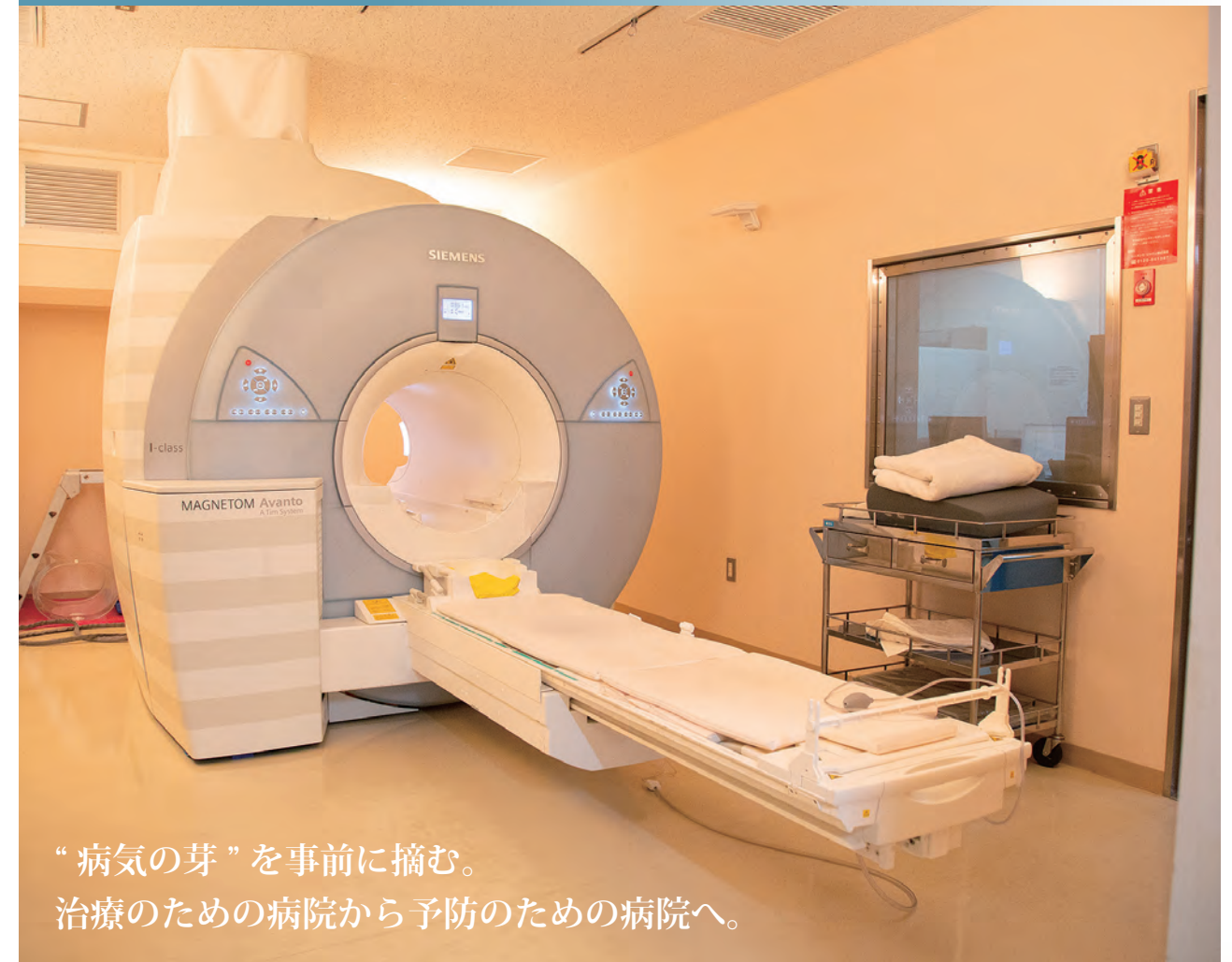
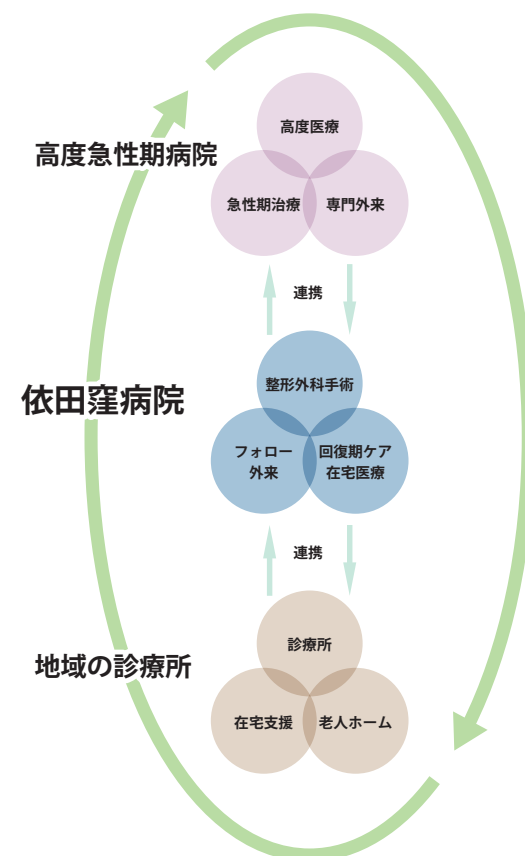


入院支援から退院後のケアまで
患者さんのライフスタイルに合わせた
医療サービスの提供。

一人の患者さんを地域全体で診る

患者さんに行き届いた医療を効率的に提供するためには、地域連携が欠かせません。当院で難しい治療は高度急性期病院へ切れ目なく紹介し、地域の診療所や、訪問看護ステーションを利用されている患者さんの状況により当院に入院いただく。

携わった患者さんが快復し、元気に暮らしていくため、地域全体で支えます。



“病気の芽”を事前に摘む。
治療のための病院から予防のための病院へ。

人間ドック

人間ドックは皆さんの健康状態を知る第一歩です。健康管理センターでは、皆さんの健康の保持、増進のための健康診断を行っています。人間ドックを受けて病気の予防・日々の生活の振り返りにご活用ください。

乳がん検診

日本人の女性では、乳がんの発病率が胃がんを抜いて第1位となっています。統計的に言いますと30人に1人の割合で乳がんにかかっている結果が出ています。乳がんは食事の洋風化や出産年齢の高齢化に伴う女性ホルモンとの関連が大きいことがわかってきました。乳がん治療の決め手は、早期発見・早期治療です。



地域に密着したあたたかな医療を目指し、
皆さんとの交流、健康づくりへの
お手伝いをします。



病気にならないように 元気に生きる

出前講座では各部門でさまざまなメニュー
を用意しています。学校健診、乳幼児健診で
も地域の子供たちの健康を見守ります。病気
にならないように、病院は地域の健康に貢献
します。



出前講座



病院祭



乳幼児健診

診療体制

地域に根差した基幹病院として
充実した医療体制を整えています

診療科

内科	泌尿器科	リハビリテーション科
外科	脳神経外科	耳鼻咽喉科
整形外科	循環器科	心臓血管外科
眼科	消化器科	
小児科	リウマチ科	
皮膚科	呼吸器科	

依田窪病院の歴史

昭和 56 年	1 月	依田窪病院組合設立（旧長門町・旧武石村・旧和田村）
	4 月	国保依田窪病院発足（内科、外科、小児科、眼科、一般病床 60 床）
昭和 58 年	1 月	40 病床増床（一般病床 100 床）
	3 月	救急告示病院に指定
	4 月	JR（旧国鉄）バスが病院玄関乗り入れ開始
昭和 59 年	4 月	皮膚科・泌尿器科新設
	7 月	人工透析開始
	9 月	更生医療指定病院
昭和 60 年	5 月	整形外科新設
	6 月	脳神経外科新設
昭和 61 年	3 月	政府管掌保険成人病予防健診病院
昭和 63 年	3 月	ID カード患者受診券導入
平成元年	4 月	医療ソーシャルワーカー配置
平成 02 年	5 月	透析室増改築（透析 15 床）
平成 03 年	5 月	病院発足 10 周年記念式
	8 月	院内託児所開設
平成 05 年	7 月	受付窓口オープン化
	9 月	院内下足化実施
平成 06 年	4 月	地域医療室開設
平成 07 年	3 月	管理診療棟増改築竣工
	4 月	老人保健施設「いこい」開設
	7 月	病院群輪番制病院に参加
平成 08 年	4 月	院内感染防止対策承認
	6 月	新看護体系による 2.5 対 1 看護、15 対 1 看護補助実施承認
平成 09 年	9 月	15 床増床（一般病床 115 床）
平成 10 年	7 月	循環器科、呼吸器科、消化器科、リウマチ科新設、全 12 科標榜
平成 11 年	8 月	組合名称を「依田窪医療福祉事務組合」に変更
	9 月	脊椎手術 1000 件達成
平成 12 年	4 月	居宅介護支援事業所開設、人事考課制度導入
	9 月	25 床増床許可（一般病床 140 床）、オーダーリングシステム導入
		新病棟増築竣工、新病棟オープン（透析ベット 10 床増床（25 床））
平成 13 年	3 月	管理診療棟増改築竣工
	6 月	病院発足 20 周年記念式及び増改築事業竣工式
平成 14 年	2 月	病院機能評価（一般病棟種別 A）認定
	4 月	越知院長が名誉院長となり、三澤院長が就任
平成 15 年	5 月	麻酔科を新設
	6 月	附属和田診療所を開設、回復期リハビリテーション病棟を開設
	7 月	耳鼻咽喉科新設 火曜日～土曜日診療に変更
平成 16 年	3 月	放射線デジタル（フィルムレス）化
	4 月	脊椎センター・透析センター開設
	7 月	心臓血管外科新設



旧病院 正面（昭和 37 年頃）



平成 3 年頃

平成 17 年	3 月	リハビリテーション室増改築竣工
	5 月	リハビリテーション科新設、全 16 科標榜
	10 月	長門町、和田村が合併し長和町が誕生し、長和町・武石村組合立病院となる
平成 18 年	1 月	緊急避難路『ふれあい橋』竣工
	2 月	院内保育所『あすなろ』竣工
	3 月	上田市、丸子町、真田町、武石村が合併し新上田市が誕生し、長和町・上田市組合立病院となる
	11 月	電子カルテ導入
平成 19 年	3 月	病院機能評価（ver.5）認定
	4 月	病院モニター制度発足
	6 月	訪問看護ステーション「よだくぼ」開設
平成 20 年	4 月	専従リスクマネージャー配置 医療安全管理室設置
	6 月	3 階病棟を亜急性期病棟とする（稼働病床 134 床）
平成 21 年	3 月	「依田窪病院改革プラン」策定
	9 月	総合診療科新設
平成 23 年	3 月	大門診療所廃止
	4 月	地域医療連携室設置
	8 月	「依田窪病院を支える会」発足
平成 24 年	2 月	脊椎手術 5000 件達成
	3 月	院内保育所を増築し病児保育室を設置、病院機能評価（ver.6）認定、病院発足 30 周年記念式
	4 月	人工関節手術 1000 件達成、外来と透析室部門を統合
	5 月	電子カルテ更新
平成 25 年	2 月	地域医療連携ネットワークシステムの導入
	3 月	入院必需品（CS）セット導入
	4 月	出前講座の開設、入院案内室設置
平成 26 年	4 月	包括医療支払い制度（DPC）の開始
		入院支援センター設置
	10 月	地域包括ケア病棟入院料 1 認可（3 階病棟）
平成 27 年	4 月	経営企画室開設
		診療体制変更（日・月曜日休診から土・日曜日休診）
	9 月	マンモグラフィ装置更新
平成 28 年	9 月	駐車場患者サポートサービス開始
平成 29 年	3 月	「新公立病院改革プラン」策定
	6 月	病院機能評価（3rdG:Ver.1.1）認定
平成 30 年	4 月	患者サポートセンター設置
		附属和田診療所移転
令和 02 年	4 月	地域包括ケア病棟入院料 1 認可（5 階病棟）



病院空撮